

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

2022年5月

みずほ銀行(中国)有限公司

中国アドバイザー一部

MIZUHO

中国自動車業界レポート(2022年4月)

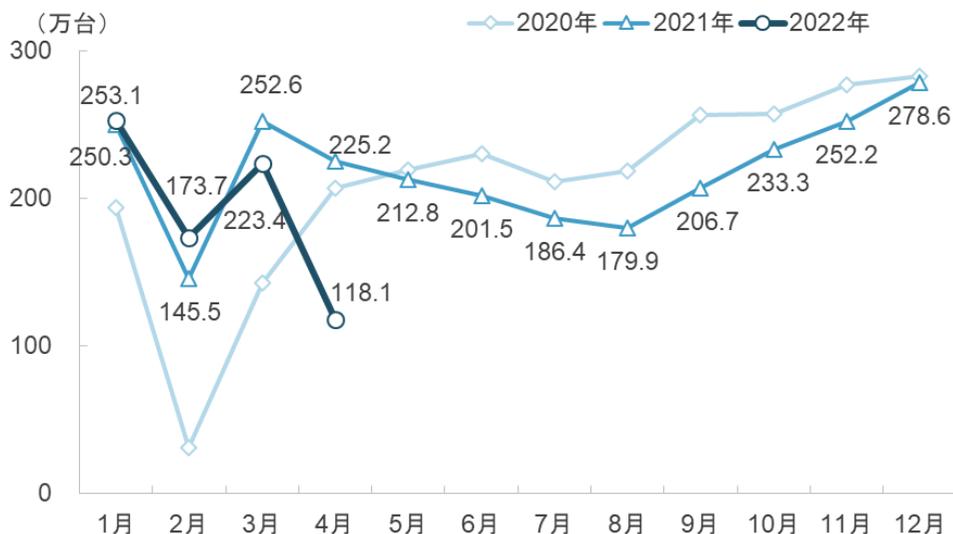
1 自動車販売台数	
1.1 自動車生産販売台数 2
1.2 乗用車市場 3-4
1.3 高級車市場 5
1.4 日系三強 6
1.5 NEV 7-8
2 在庫 9
3 新たに発売されたモデル 10
4 業界動向 11
5 中古車市場 12
6 2021年ダブルクレジット成績 13
7 2022年度の自動車購入刺激策 14

1.1 自動車販売台数

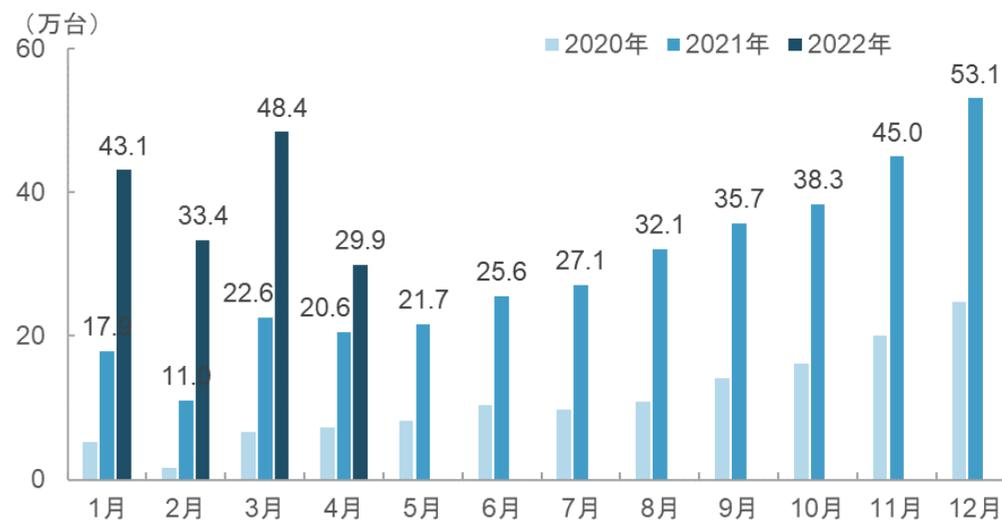
【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **自動車生産・販売台数**: Covid-19感染拡大の影響により、自動車生産・販売台数ともに大幅下落となった。2022年4月、中国自動車生産台数は前年同月比46.1%減、前月比46.2%減の120.5万台、販売台数は前年同月比47.6%減、前月比47.1%減の118.1万台。4月末時点、今回の感染拡大が深刻であった吉林省や上海市の自動車メーカーは工場を再開し始めていることから、生産販売状況はやや改善が見られる。中央及び地方政府も立て続けに自動車購入促進策を発表。抑圧されているニーズが今後動き出すことから、5月の自動車市場は徐々に回復すると見られる。
 - ✓ 乗用車: 4月販売台数は前年同月比43.4%減、前月比48.2%減の96.5万台。1-4月累計販売台数は前年同期比4.2%減の651.0万台。
 - ✓ 商用車: 4月販売台数は前年同月比60.7%減、前月比41.6%減の21.6万台、1-4月累計販売台数は前年同期比39.8%減の118.1万台。
- **NEV**: 4月のNEV販売台数は前年同月比44.6%増の29.9万台、うちBEV販売台数は同34.6%増の23.1万台、PHEV販売台数は同94.0%増の6.8万台。FCVの販売台数は94台。
- **輸出**: 4月の自動車メーカー輸出台数は前年同月比6.6%減の14.1万台、うち乗用車は同15.2%減の9.9万台、商用車は同23.2%増の4.2万台。1-4月累計では前年同期比40.5%増の72.3万台。

中国自動車月次販売台数(2020-2022)



中国NEV月次販売台数(2020-2022)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **乗用車小売台数**: 2022年4月、中国乗用車市場情報協会の発表した自動車小売台数は前年同月比35.4%減の104.39万台。うちTop15社は同35.7%減の79.9万台。Top15社のうちVWは生産拠点のある上海、長春ともにCovid-19の影響が大きく、一汽VW・上汽VW共に販売台数を大きく落とした。一方、BYDは前年同月比138.4%増となり、初めて一汽VWを超えて月次販売台数トップの座を手にした。
- **1-4月累計販売台数**: 乗用車企業Top15社のうち、プラスの伸びとなったのはBYD、奇瑞汽車、広汽トヨタの3社のみで、その他は軒並みマイナス。下げ幅が大きいのは、上汽GM(▲32.4%)と上汽VW(▲30.4%)。

乗用車メーカー小売台数Top15

No.	メーカー	2021.4 (万台)	2022.4 (万台)		
			前年同月比	市場シェア	
1	BYD	4.39	10.48	138.4%	10.0%
2	一汽VW	15.95	8.11	-49.2%	7.8%
3	広汽トヨタ	6.91	6.40	-7.3%	6.1%
4	東風日産	10.18	5.76	-43.4%	5.5%
5	吉利汽車	9.18	5.47	-40.4%	5.2%
6	長安汽車	9.81	5.37	-45.3%	5.2%
7	東風ホンダ	8.49	5.23	-38.4%	5.0%
8	上汽VW	10.97	5.22	-52.4%	5.0%
9	上汽GM	11.65	5.01	-57.0%	4.8%
10	広汽ホンダ	6.46	4.32	-33.2%	4.1%
11	上汽GM五菱	7.08	4.24	-40.1%	4.1%
12	一汽トヨタ	6.53	3.72	-43.0%	3.6%
13	長城汽車	6.51	3.56	-45.3%	3.4%
14	奇瑞汽車	3.83	3.55	-7.3%	3.4%
15	北京ベント	6.34	3.49	-45.0%	3.3%
Top15 計		124.28	79.93	-35.7%	76.6%

No.	メーカー	2021.1-4 (万台)	2022.1-4 (万台)		
			前年同期比	市場シェア	
1	一汽VW	71.89	50.29	-30.0%	8.4%
2	BYD	14.56	39.21	169.4%	6.6%
3	長安汽車	44.61	37.83	-15.2%	6.4%
4	吉利汽車	39.79	34.92	-12.3%	5.9%
5	上汽VW	49.97	34.80	-30.4%	5.8%
6	上汽GM	46.34	31.32	-32.4%	5.3%
7	東風日産	39.09	29.80	-23.8%	5.0%
8	広汽トヨタ	27.68	29.28	5.8%	4.9%
9	上汽GM五菱	32.69	25.90	-20.8%	4.3%
10	長城汽車	32.70	25.51	-22.0%	4.3%
11	広汽ホンダ	24.48	22.90	-6.4%	3.8%
12	東風ホンダ	29.50	22.12	-25.0%	3.7%
13	華晨BMW	23.66	20.07	-15.2%	3.4%
14	一汽トヨタ	26.05	19.66	-24.5%	3.3%
15	奇瑞汽車	17.70	19.16	8.3%	3.2%
Top15 計		520.71	442.77	-15.0%	74.3%

出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

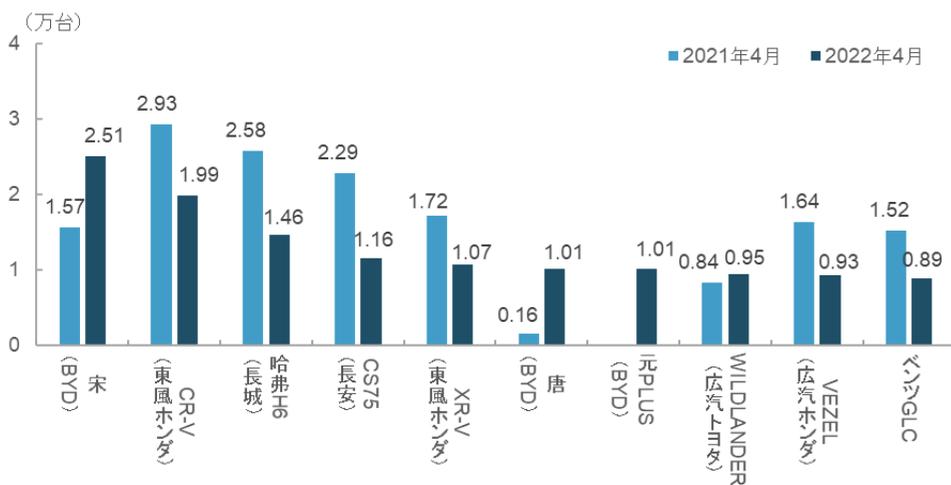
■ 乗用車モデルTop10:

- ✓ **セダン**: 2022年4月、日産Sylphyは前年同月比42.9%減となったものの、トップは維持。三菱宏光MINIは同6.4%減と小幅下落ながらも第2位につけた。次いでBYD秦が同3.73倍増で第3位。Top10モデルの販売台数は計16.71万台、セダン月次販売台数のCR10は31.7%。
- ✓ **SUV**: BYD宋は前年同月比59.9%増とホンダCR-Vを抜きSUVトップ。哈弗H6は下げが続く。SUV月次販売台数のCR10は28.3%、前月比2pt拡大。
- ✓ **MPV**: GL8が三菱宏光を抜き第1位。传祺M8は同33.8%増で第3位。MPV月次販売台数のCR10は72.0%。

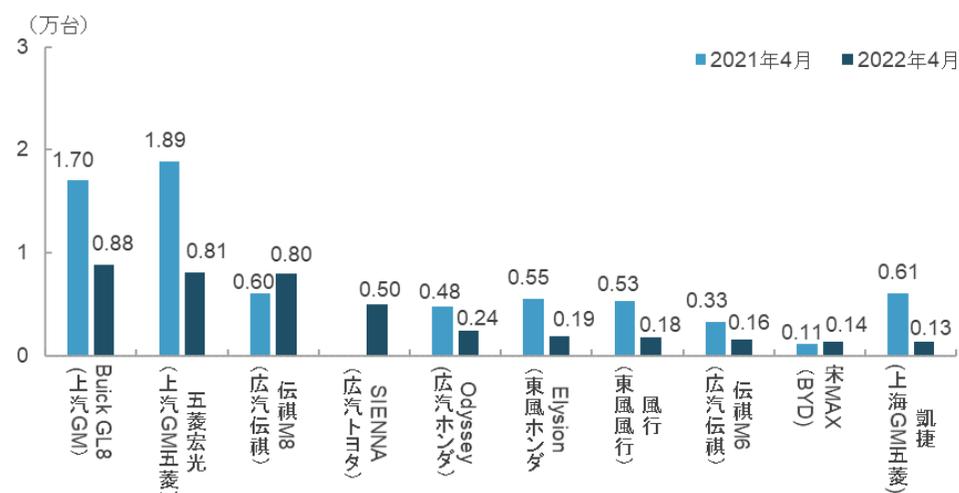
セダン販売台数Top10 (2022年4月)



SUV販売台数Top10 (2022年4月)



MPV販売台数Top10 (2022年4月)



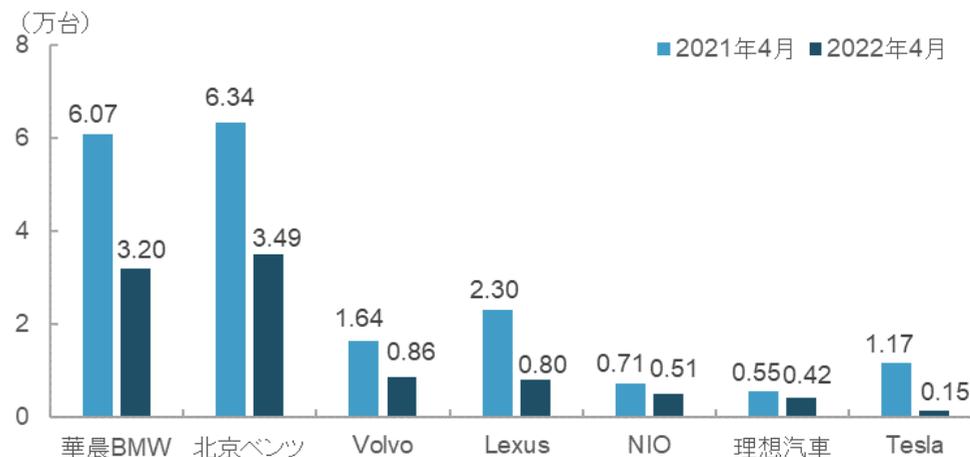
出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.3 高級車市場

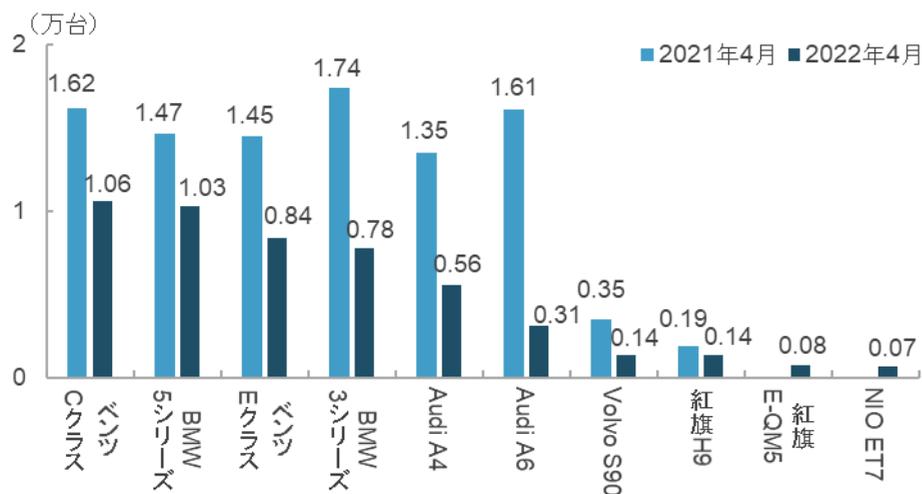
【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **高級車市場:** 2022年4月の国産高級車小売販売台数は前年同月比54%減、前月比50%減の12万台。4月はCovid-19の影響が大きく、特に吉林や上海に拠点を置く一汽Audi、Tesla、華晨BMWなどの生産・販売は深刻なダメージを受けた。特にTeslaの販売台数はわずか1,512台にまで落ち込んでいる。
- **タイプ別:**
 - ✓ **セダン:** 紅旗E-QM5とNIO ET7が伸ばした他は全て前年同月比減。特にAudiはCovid-19による影響が深刻で、最大の下げ幅となった。
 - ✓ **SUV:** 各モデルとも前年同月比減、上位3モデルは高級モデルが占めた。理想ONEは同23.6%減となったものの第4位につけている。

高級車メーカー販売台数 (一部、2022年4月)

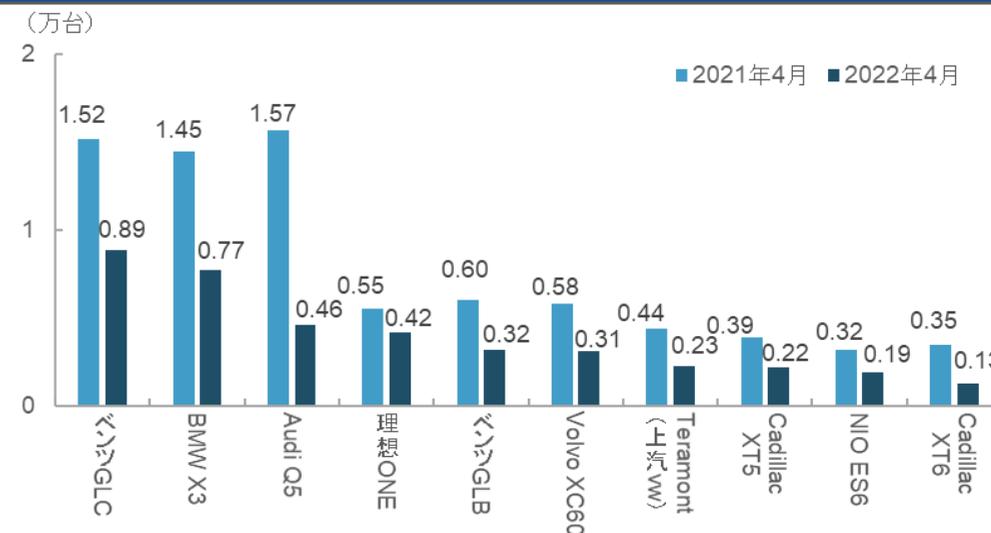


高級セダン販売台数Top10 (2022年4月)



備考: 高級車とは指導販売価格30万元以上を指す。

高級SUV販売台数Top10 (2022年4月)



出所: 新浪汽車、中国乗用車市場情報联席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

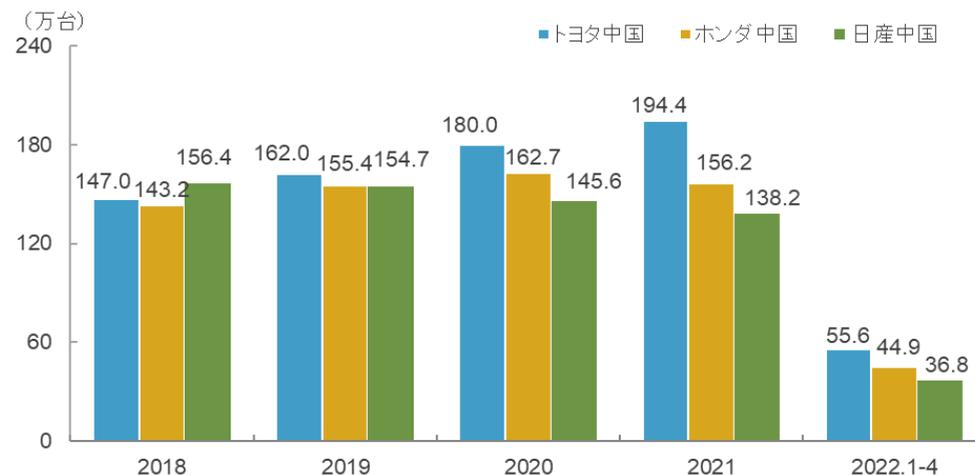
1.4 日系三強

【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

■ **日系三強**: Covid-19対策と部品不足の影響が響き、2022年4月の日系販売台数は軒並み前年同月比減となった。

- ✓ トヨタ中国の4月販売台数は前年同月比30.7%減の11.11万台、うち広汽トヨタは同7.3%減の6.85万台、吉林省長春市にある一汽トヨタの工場は3月14日より稼働停止、4月は丸1ヶ月間完全に停止、5月1日より段階的に生産を回復させている。
- ✓ ホンダ中国の4月販売台数は前年同月比36.3%減の9.52万台、うち広汽ホンダが4.30万台、東風ホンダは5.23万台。ホンダ中国の1-4月累計販売台数は前年同期比16.8%減の44.90万台。
- ✓ 日産中国の4月販売台数は前年同月比46.0%減の6.93万台。各モデルとも全て同減となった。1-4月の累計販売台数は同23.4%減の36.81万台。

日系三強の販売台数(2018~2022)



日系三強月次販売台数(2020-2022年)

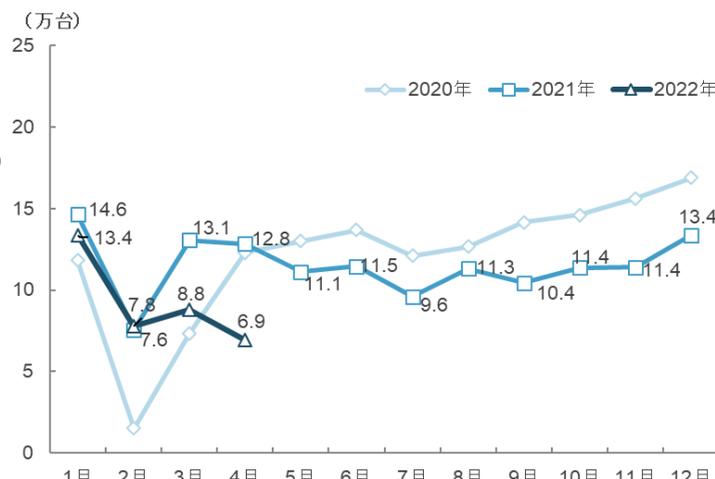
TOYOTA



HONDA



NISSAN



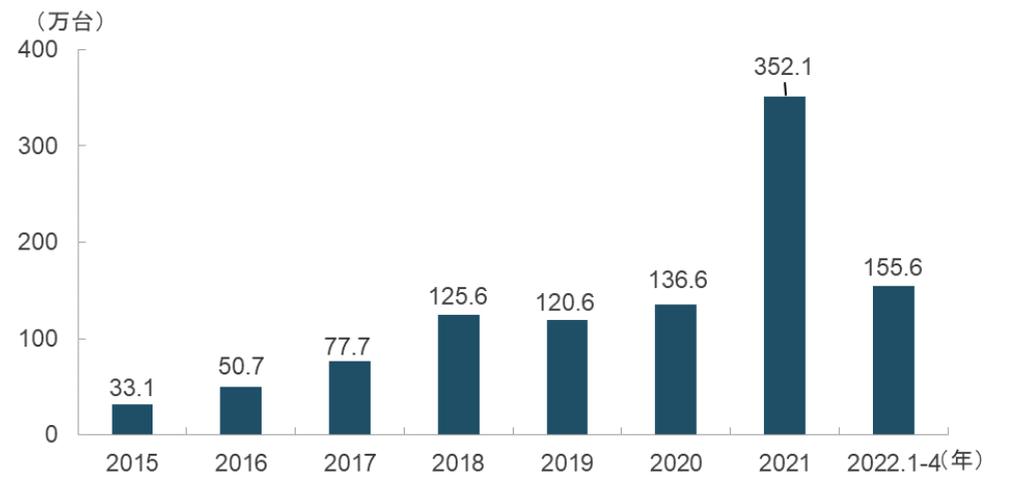
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV①

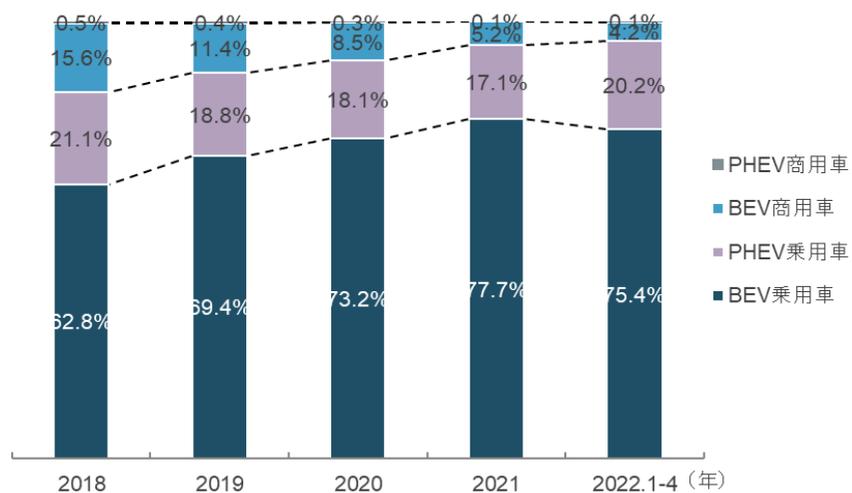
【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **高成長を維持:** 1-4月の中国NEV累計販売台数は前年同期比2.1倍の155.6万台、うちBEVは同2倍の123.9万台、PHEVは同2.7倍の31.6万台。FCVは同4.4倍の832台となった。
- **販売台数構成比:** 1-4月の販売台数構成比ではBEV乗用車が75.4%、2021年通年より小幅縮小の一方、PHEV乗用車は同3.1pt上昇の20.2%。
- **新車販売台数に占めるNEV構成比:** 4月、新車販売台数に占めるNEV構成比は25.3%、乗用車では29.0%に達し、拡大傾向が続いている。

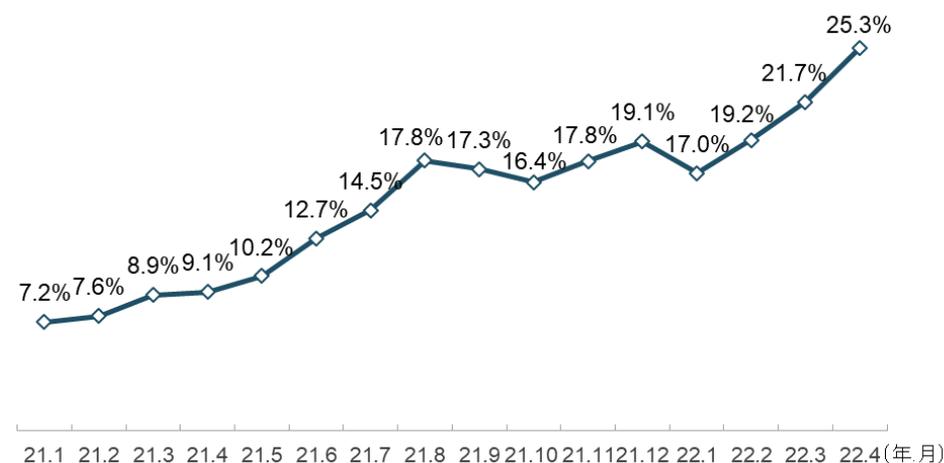
中国NEV年間販売台数(2012-2022)



NEV販売台数構成比(2018-2022)



新車販売台数に占めるNEV構成比(2021-2022)

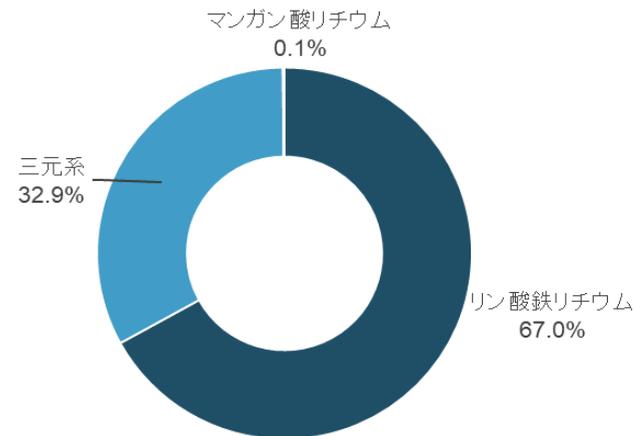


出所: 中国汽車工業協会、中国乗用車市場情報联席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

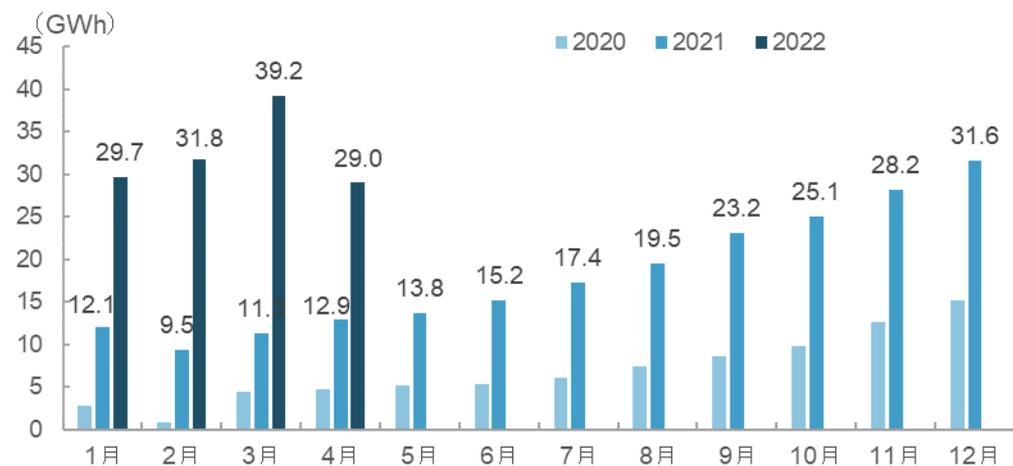
1.5 NEV②

- **動力電池**:2022年4月、中国動力電池搭載量は前年同月比58.1%増、前月比38.0%減の13.3GWh、前年同月比では高い伸びを維持、うち、リン酸鉄リチウム電池のシェアは67.0%に達している。1-4月の動力電池搭載量は前年同期比104.1%増の64.5GWh。
 - ✓ **生産量**:4月の動力電池生産量は前年同月比124.1%増、前月比26.2%減の29.0GWh。うちリン酸鉄リチウム電池は18.6GWh、総生産量の64.3%を占めた。三元系は10.3GWh、総生産量の35.5%と構成比を落とし続けている。
 - ✓ **Top10**:4月に搭載された動力電池メーカーは34社。うち、Top10の搭載容量は12.7GWh、CR10は96.0%。顧客完成車メーカーの工場停止や減産により、CATLがシェアを38.2%に落としている。

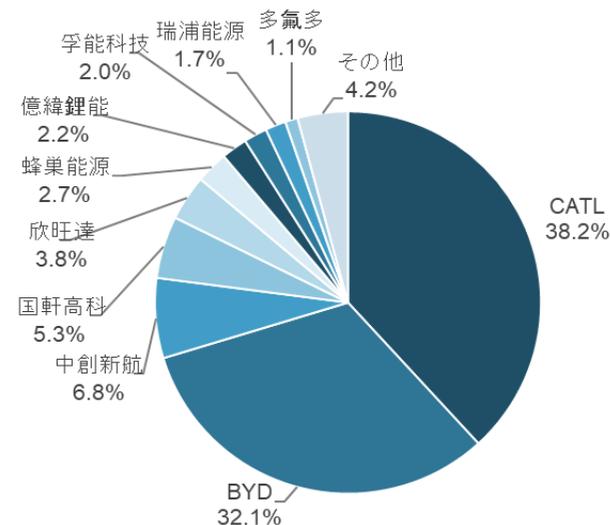
動力電池搭載容量構成比(2022年4月)



動力電池生産量(2020-2022年)



動力電池搭載容量Top10社(2022年4月)



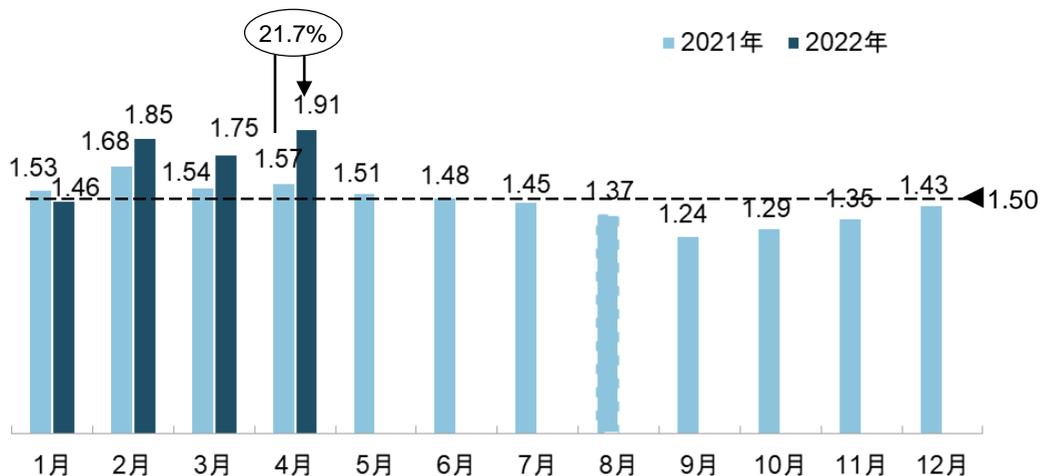
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫

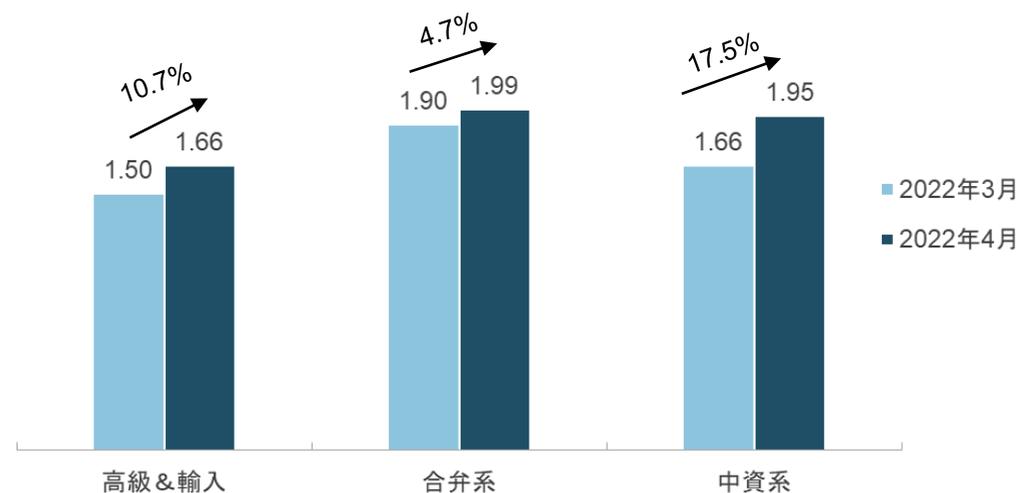
【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **在庫係数**:2022年4月の自動車ディーラー在庫係数は前年同月比21.7%上昇、前月比9.1%上昇の1.91。4月は上海等でCovid-19の感染者が増加、完成車及び部品メーカーが稼働を停止、ディーラーも店舗を開けることができなかつたことから、自動車販売台数も大幅に減少、ディーラー在庫係数は警戒ラインを上回るようになった。
- **ブランド別**:4月は多くの都市でCovid-19の感染防止措置が採られたことで、末端ディーラーの販売は深刻な打撃を受け、販売ノルマを達成することができない状況となっている。高級&輸入ブランドの在庫係数は前月比10.7%上昇の1.66、合弁系は同4.7%上昇の1.99、中資系は同17.5%上昇の1.95。
- **2022年5月の予測**:Covid-19の繰り返しの再発は自動車市場の生産と販売に大きなダメージを与えており、5月も低迷は続く見通し。全国各地のモーターショーの延期や、新車発売計画も延期されている。5月に上海市が回復し、メーカー各社が工場を再開し、末端ディーラーが店舗を開けることができれば、ディーラー在庫は4月よりは若干減少すると考えられる。

ディーラー在庫係数 (2021-2022)



ブランド別在庫係数(2022.3~4)



出所:中国汽車流通協会の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

3 新たに発売されたモデル(4月11日-5月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離	メーカー
1	4.13	凱程F300	6.09-6.39	皮卡	1.5L	-	長安汽車
2	4.15	威馬E.5	18.10-19.10 (補助金後)	セダン	-	505km	威馬汽車
3	4.17	智己L7 Dynamic版	36.88	セダン	-	615km	智己汽車
4	4.25	smart精靈#1	19.00-23.00 (補助金後)	セダン	-	535-560km	智馬達汽車
5	4.26	雷神Hi-X PHEV	12.98-14.58 (補助金後)	セダン	1.5T	100km	吉利汽車
6	4.26	e:NS1	17.5-21.8 (補助金後)	SUV	-	420-510km	東風ホンダ
7	4.29	MAXUS G90	21.99-32.99	MPV	2.0T	-	上汽大通
8	5.7	嵐図夢想家	36.99-63.99	MPV	-	475km	東風汽車
9	5.7	ARCFOX αS HI版	39.79-42.99	セダン	-	708km	北汽新能源

出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(4月11日-5月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

No.	企業	主な動向
1	長安汽車	<ul style="list-style-type: none"> 4月13日、長安汽車董事長の朱華榮氏は「2025年には長安汽車の総販売台数は400万台に達する」と宣言。
2	Tesla	<ul style="list-style-type: none"> 4月19日、Tesla上海のギガファクトリーが再開、3月28日の生産停止以降Tesla上海では前四半期生産台数の14.5%となる約4.41万台を減産。 5月1日、Teslaは上海臨港特区に宛てた感謝状において、上海工場の近くに第2工場を建設、Model 3とModel Y、計45万台の生産能力を増強することを明らかにしている。
3	広汽トヨタ 広汽ホンダ	<ul style="list-style-type: none"> 4月21日、広州市工信局が開催したオンラインメディアブリーフィングでは、Covid-19の感染拡大を受け、広汽ホンダ、広汽トヨタ、東風日産等主要完成車メーカーの一部生産ラインが停止或いは減産しているとのこと。
4	BYD	<ul style="list-style-type: none"> 4月22日、BYDは従業員持株計画を発表。総人数は1.2万人以下、参加者は出資は必要無いとのこと。
5	ホンダ中国	<ul style="list-style-type: none"> 4月25日、ホンダ中国は「e:N」ブランドの第一弾の発売日を発表。東風ホンダの「e:NS1」は4月26日に発売、広汽ホンダの「e:NP1」は5月に予約販売を開始予定。
6	VW中国	<ul style="list-style-type: none"> 4月25日、VW中国は、上海工場が段階的に生産を回復していると発表、長春工場も生産台数を徐々に増やしているとのこと。
7	広汽集団	<ul style="list-style-type: none"> 4月26日、広汽集団傘下の「如祺出行」は10億元を超えるAラウンドの資金調達を発表。この調達により、Robotaxiの商業化を促進、また産業全てを繋ぐVaaSプラットフォームを構築する。
8	一汽トヨタ	<ul style="list-style-type: none"> 5月1日、一汽トヨタの長春工場が生産を再開。Covid-19の影響により、同工場は3月14日より生産停止、停止期間は約1ヶ月半続いた。
9	恒大汽車	<ul style="list-style-type: none"> 5月2日、「恒馳5」の予約販売を開始、恒馳は18都市で代理店を募集する計画。
10	NIO	<ul style="list-style-type: none"> 5月6日、NIOはシンガポール証券取引所メインボードでの上場資格を得たことを発表、5月中に上場文書を発表する。
11	吉利汽車	<ul style="list-style-type: none"> 5月10日、吉利汽車と仏Renaultグループ韓国子会社のRenault韓国は株式引受協議を締結、吉利はRenault韓国の株式34.02%を取得する。

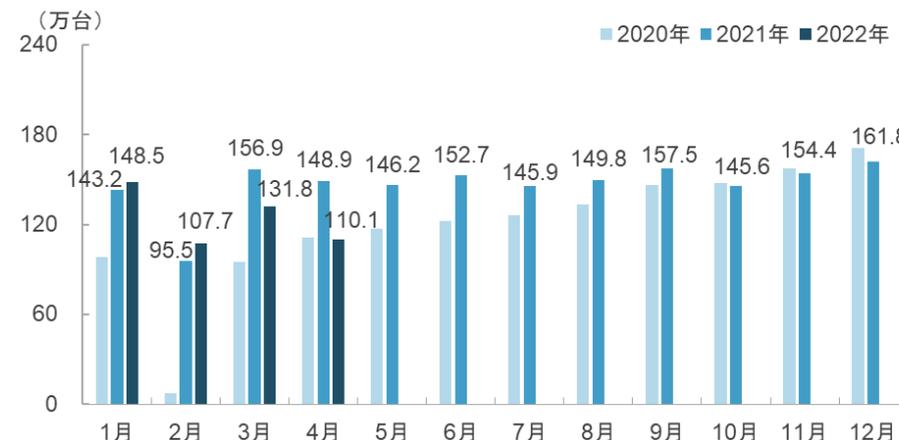
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

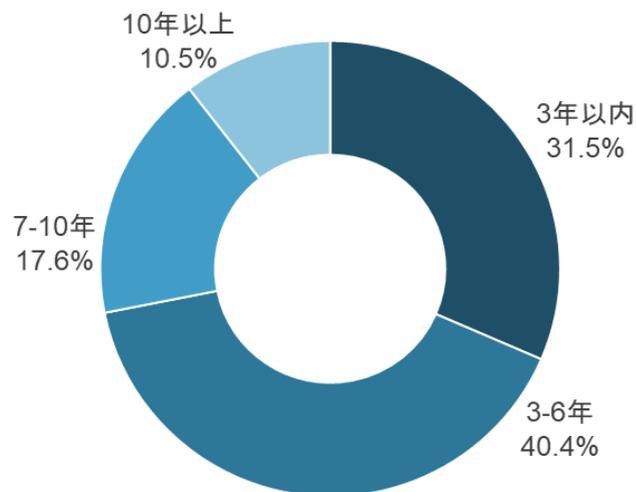
【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **中古車取引台数**:2022年4月の中国中古車市場取引台数は前年同月比26.1%減、前月比16.5%減の110.1万台、取引額は751.5億元。セダン、SUV、MPVは前年同月比、前月比ともに軒並み減となった。2022年1-4月の中古車累計取引台数は前年同期比8.54%減の498.02万台。5月に入ってもCovid-19が各地で拡散していることから、中古車取引台数は引き続き減となる見込み。
- **年数別**:4月、年数別取引台数構成比では3-6年が40.4%で最大、前月比3.2pt拡大している。次いで3年以内が31.5%。
- **省間の転籍台数**:4月の中古車省間の転籍台数は24.4万台、転籍率は22.2%、前年同月比5.5pt低下した。

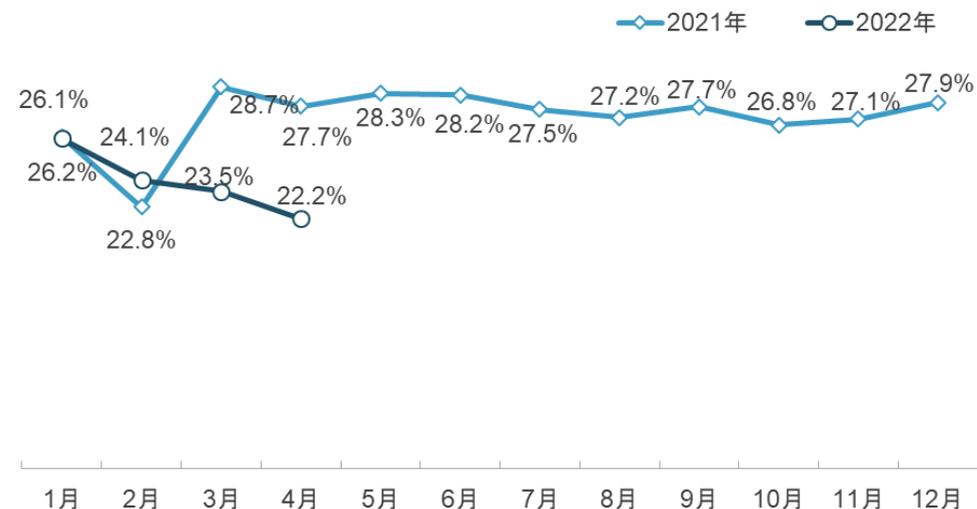
中古車月次取引台数(2020-2022)



中古車取引台数における車両年数構成比(2022年4月)



中古車の省間転籍率



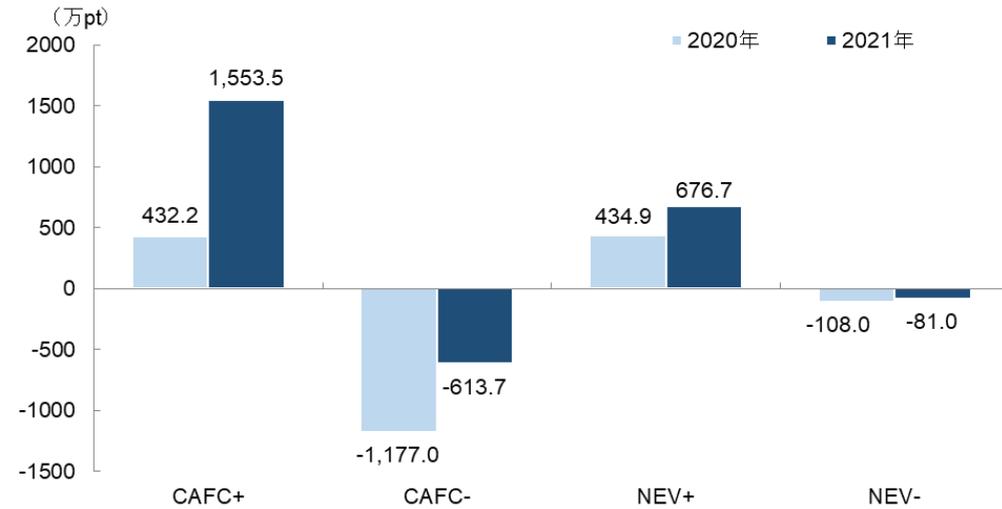
出所:中国汽流通協会の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

6 2021年ダブルクレジット成績

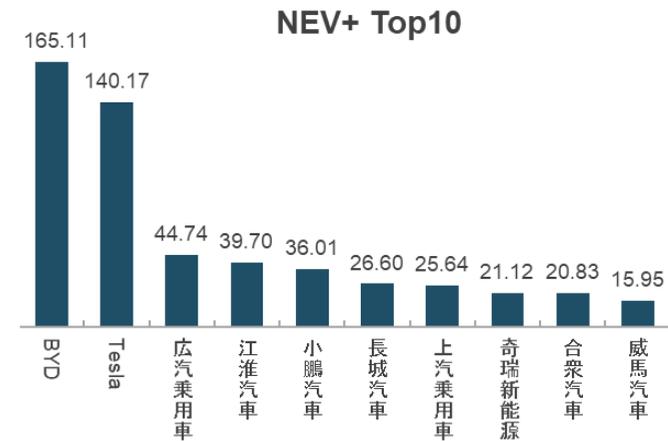
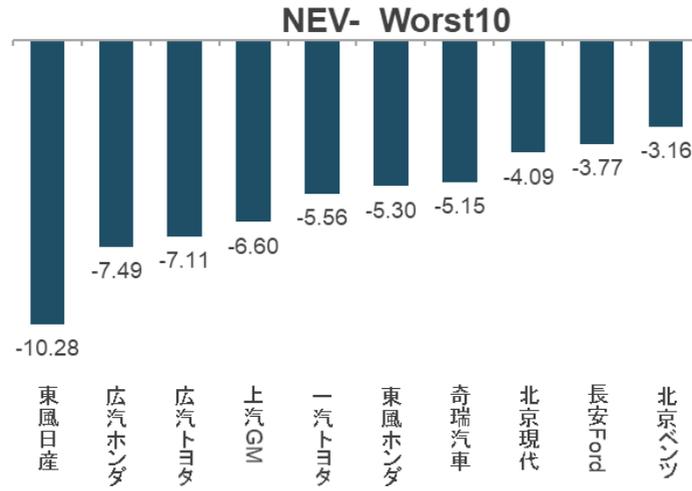
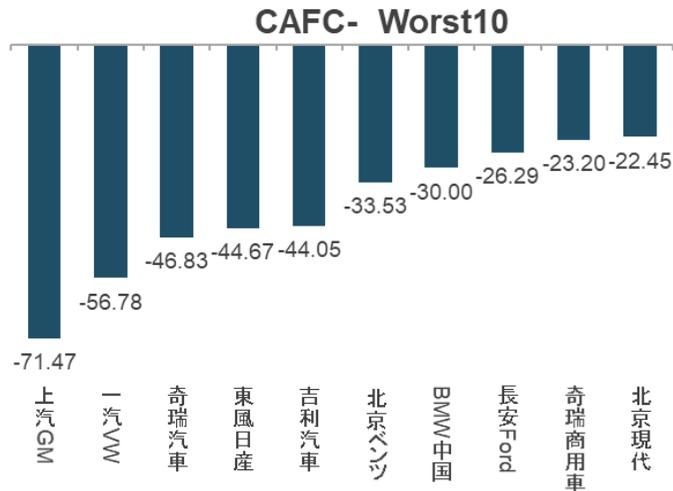
【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **2021年のクレジット取得状況**: 2021年、中国乗用車燃料消費(CAFC)プラスクレジットは前年比255.7%増の計1553.49pt、CAFCマイナスクレジットは同47.6%減の計▲613.66pt。2021年のNEVプラスクレジット合計は前年比54.9%増の計676.72万pt、NEVマイナスクレジットは同24%減少の計▲81.00万pt。
- **企業ランキング**: CAFCクレジットのワースト10のうち、中資系は3社、他は全て合弁系。NEVクレジットのワースト10では奇瑞汽車を除き、全て合弁系となった。一方、NEVクレジットTop10のうち、外資はTeslaのみ。
- **クレジット取引**: 2021年、取引可能なNEVクレジットは前年比80.6%増の596pt。証券各社の予測では、2022年のNEVクレジット取引価格は1,000元/ptを下回る見通し。

2020-2021年ダブルクレジット取得状況



各社 CAFCマイナスクレジット、NEVマナスクレジット、NEVプラスクレジット状況 (2021年)



出所: 工業和信息化部の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

7 2022年度の自動車購入刺激策

【中国自動車業界レポート(2022年4月)】

- **2022年の自動車購入刺激策**: 4月20日、国務院弁公庁は『消費潜在力を更に解放し消費の持続的回復を促進するための意見』を公布、各地方に対し、自動車購入制限措置を採ることを禁止、既に購入制限を導入している地域に対しては、自動車台数を徐々に増やすための指標台数の設置や自動車購入資格制限の緩和を求め、一部の大都市を除く購入制限エリアについては都市部、郊外などで指標の差別化を行うことを奨励。また、法律、経済及びテクノロジーなどの手段を通じた自動車の使用調整、自動車等の消費財について購入管理から使用管理へシフトするなどの対策を講じるとしている。

広東省

- 5月1日-6月30日、買換奨励策を実施
NEVの購入補助金は最大10,000元/台、
ガソリン車は5,000元/台
- 5-6月の自動車販売指標を3万台増加

広東省深圳市

- 5月20日-12月末まで買換に対し最大
5,000元/台を補助
- 5-6月の自動車販売指標を1万台増加
- 各区の自動車購入補助金最大2万元

広東省中山市

- 5月20日-12月末まで購入補助金最大
1.3万元/台
- 自動車販促イベントに計1億元を投入

遼寧省瀋陽市

- 5月1日より、総額1億元を自動車購入補
助金として投入
- 1台あたり補助金最大5,000元

天津市

- 4月27日-9月30日、多くの区で自動車
消費券を発行。例えば西青区では1,
000万元分を発行
- NEV最高補助金5,000元/台

江西省南昌市

- 5月1日-7月31日、10月1日-10月31日
の期間、南昌経済開発区で自動車購入
補助金総額300万元を投入、最大補助
金額は3,000元/台

山東省

- NEV購入補助金を2022年末まで延長。
条件を満たす非公共用の場合、補助金
は最大5万元/台。公共用は7.5万元/台

福建省晋江市

- 5月1日-7月31日の期間、購入補助金と
して計3,000万元を投入。最大6,000元/
元

山西省晋中市

- 5月1日-12月31日の期間、個人の自動
車購入者に対し補助金を支給。市内全
体で1万台を対象、最高額は5,000元/
台

出所: 工業信息化部の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2022 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。